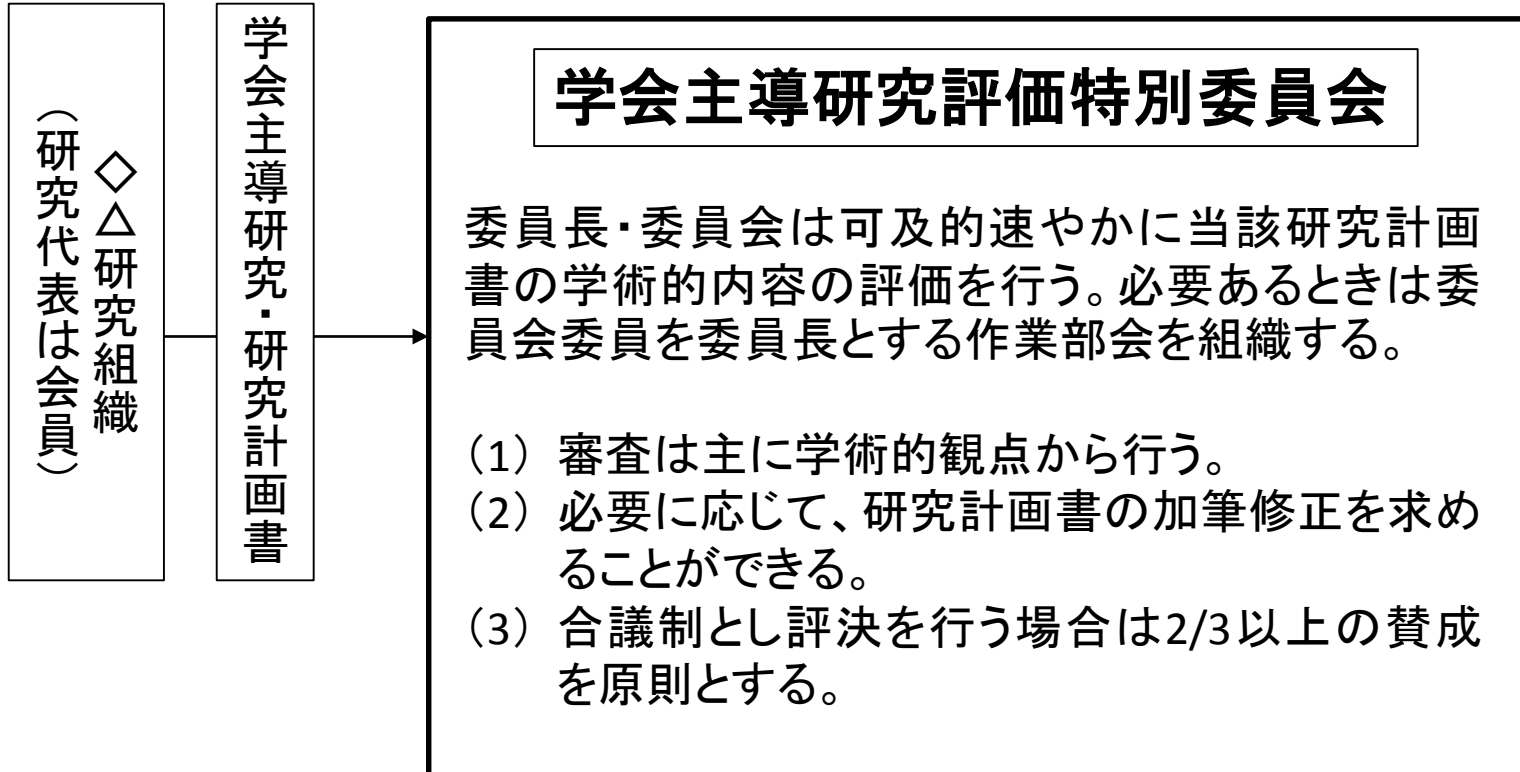


学会主導研究の申請



なお、当委員会委員が研究計画書に含まれることや、また研究に後日参画することも可とするが、当該研究審査には加わらない。

委員会、理事会の対応

学会主導研究評価特別委員会

委員長は学会主導研究として研究推進する意義に関して委員会検討結果を報告する。

学会主導研究としての意義は、

- (1) 十分である。
 - (2) 十分とは言えない。
 - (3) 不十分である。
- 意見付記を可とする。

代表理事に報告

理事会

代表理事は、学会主導研究として研究推進の可否を予算措置を含め理事会での審議に諮る

学会主導研究として;
推進可の場合:「〇〇」研究グループを設置
(研究計画書提出メンバーを中心とする)
推進不可の場合:審議結果の通知

◇△研究組織
(研究代表は会員)

学会主導研究の実施

◇△研究組織から研究計画書の提出・評価を受け、理事会が学会主導で研究実施をすると判断した場合の対応：

- ・ 学会主導研究評価特別委員会は新たに「(妥当な名称)・研究グループ」を設置する。
- ・ 理事会は研究に関わる予算措置を(理事会審議、社員総会承認を踏まえ)行う。
- ・ 研究グループは、研究計画書を提出したメンバーを中心とする。
- ・ 研究グループが、承認された学会主導研究を実施する。
- ・ 研究グループの委員長は、利益相反申告書を学会利益相反管理委員会へ報告する。
- ・ 研究グループは、基幹施設倫理委員会承認書類一式を理事会へ提出する。
- ・ 研究グループは学会主導研究特別委員会へ研究結果(中止、終了)を報告する。

学会主導研究の成果発表

日本救急医学会は、学術団体であり学術的成果の社会への還元をその大きな使命としている。学会主導の研究推進は、学術団体としての情報発信の充実を目指したものである。

研究成果は日本救急医学会学術集会発表および英文論文公表を必須とする。
研究成果は日本救急医学会主導研究であること明記して公表する。

英文誌公表後に、研究主題関連総説を日本救急医学会雑誌あるいはAcute Medicine and Surgery誌へ投稿する事を原則とする。和英両雑誌への掲載の詳細は両雑誌編集委員長が協議・決定する。